

●同志社サッカー部ボランティア活動として木津川希少植物の保存のための刈草集草作業に来所決まる

第1日 12月6日	9時 女子部員 6名	近鉄興戸駅集合	移動手伝い 寺村さん(7人乗り)
	10時 男子部員 4名	田辺校正門集合	自力移動 の事
作業予定地	木津川市加茂町 午前・小谷地域 午後・恭仁大橋～渦の樋門		

第2日 12月7日	9時 男子部員 4名	近鉄興戸駅集合	移動手伝い 寺村さん(7人乗り)
	10時 女子部員 7名	田辺校正門集合	移動手伝い 寺村さん堀さん(11時まで)
作業予定地	木津川市山城町 午前・大曲 午後・寺村		

里山の会

第1日	スタッフ 太田 森島 播川 寺村 現地直行 有田 金田 堀
第2日	スタッフ 太田 森島 吉村 寺村 現地直行 堀さん(6人乗り)

※ 里山の会では昼食・弁当とお茶は用意いたします

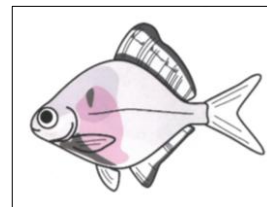
以上の体制で木津川上流部の刈草の集草作業を実行いたします。

当日現地にお越しください。よろしくおねがいたします

お手伝いにお越し頂けましたら大変ありがたいです。

●第6回木津川で特別天然記念物イタセンパラの復元を目指すシンポジウム開催の会場決まる 12月21日(土)

2007年まで淀川水系で人が手を加えずに生育していましたが、それ以降見られなくなりました。今回第6回目のシンポジウムの開催することになりました。目立った成果が無いこの一年間でしたが、先ごろ(11月20日)に木曽川上流河川事務所を訪ね、現地のイタセンパラの実情を学ばさせていただきました。これらの報告と絶滅の恐れのあるいきものと指定されているヤマトサンショウウオの観察調査や、京都水族館への提供報告などと併せて、中学生たちの調査観察の活動発表の場として開催させていただきますので多数の皆さんのご出席をお願いいたします。ただ今のところ国交省近畿地方整備局淀川河川事務所に淀川でのイタセンパラの現状報告をお願いしています。自由発言の時間も十分にご用意しておりますのでぜひともご参加ください。



●冬の昆虫観察 12月14日(日)

2025年の異常な夏の暑さが続き山などの自然環境の変化で冬ごもりのための食料が無くてクマが人里への出現で犠牲者が増え、人間生活に大きな不安が広がっています。昆虫の世界ではどのような変化が起きているのでしょうか。オオムラサキへの影響はどのようなのでしょうか、このような中での調査は非常に貴重な記録になると思われます。しっかり調査観察をしておきましょう。みなさんのご参加をお願いします。毎年のお世話になっている元近畿大学教授の桜谷保之先生もお越し頂けます。また3月に京都大学で日本生態学会が開催されますのでお知らせしておきます。



※以前の様子

●農園だより

エンドウ豆の種をポットで育て、農園に植えつけました。12月2日(火)に蔓が伸びても良いように3棟に支柱を立てました。

寒い冬を越えて、春にはたくさんの実がつくのが楽しみです。



●竹サインペンの制作で一番困っているのが竹割作業です。

竹の肉厚8mmの真竹を用意して幅8mmにできるだけ正方形に割るのですが、竹は円筒形をしていますので自動的に正方形に割れないのです。現在日本の刃物(カッターナイフ)を設置して工夫しながら竹を刃物の上に載せて竹を上からハンマーで叩き割っています。慣れて来るにしたがって割りきるスピードが少しは速くなりますが、量産となると心配なのです。時には配布が広がって大きなものや、台形なものを成型するのに手間がかかります。正確に割る力を必要としなくて量産が進む道具がないモノかと悩んでいます。皆様のお知恵で良いヒントがあればご連絡をお願いいたします。このサインペンは農地に拡大している竹の利用、プラスチックサインペンによるごみ対策、製作に身障者の手作り作業の創設を目的にしています。出来れば身障者の報酬引き上げが実現できればなどを目指しています。お知恵を拝借させてください。

●第30回自然と環境講演会 開催日と会場決定

3月7日(土) 13:00～ 京田辺市立中央公民館

ドローンから見た日本の先端技術

イーエスピー企画社長 江碕雅康 氏 (岐阜羽島市在住)



●結成30周年記念式典 来年11月14日(土)

記念講演 「東南海地震と暮らし」元京都大学准教授 松波孝治氏

里山の会では阪神淡路大地震や東日本大地震等にボランティアとして活動してきました。能登半島地震・熊本地震などが近年騒がしくなっています。近いころ東南海地震が引き起こされると予想されています。賢く対処するための学習会を記念講演として開催いたします。参加費無料ですのでこぞってご参加ください。



震災は忘れたころに
やってくる
「津波てんでんこ」

